

2023年度

理学療法学科 3 学年
教育計画

関東リハビリテーション専門学校

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 3 科 目 名 : 理学療法総合 I

担当講師 : 降旗 悟志

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 30 時間

教科書
(出版社) : なし参考書
(出版社) : 2年生までに使用したテキスト

教育目標 【 到達目標 】 : GIO : 臨床実習で必要となる知識と技術を修得する。

SBO : ①検査測定の必要性を説明できる。②検査測定の実技を実践できる。③姿勢・動作の観察ができる。

④検査測定と姿勢動作のつながりを説明できる。⑤基本動作の介助が行える。

【講義概要】

前回の実習を振り返り、次回の臨床実習に向けて必要な検査測定の知識と技術、姿勢・動作の観察などを模擬患者を通じてグループで実践する。

| 回数 | 項 目 | 内 容 |
|----|------------|------------------------------|
| 1 | オリエンテーション | この講義の目的について |
| 2 | 実習の振り返りと目標 | 前回の実習を振り返り、次回の実習に向けた取り組みを考える |
| 3 | 実技・グループワーク | 検査測定① |
| 4 | 実技・グループワーク | 検査測定② |
| 5 | 実技・グループワーク | 検査測定③ |
| 6 | 実技・グループワーク | 検査測定④ |
| 7 | 実技・グループワーク | 姿勢・動作観察① |
| 8 | 実技・グループワーク | 姿勢・動作観察② |
| 9 | 実技・グループワーク | 姿勢・動作観察③ |
| 10 | 実技・グループワーク | 姿勢・動作観察④ |
| 11 | 実技・グループワーク | 動作介助・治療① |
| 12 | 実技・グループワーク | 動作介助・治療② |
| 13 | 実技・グループワーク | 動作介助・治療③ |
| 14 | 実技・グループワーク | 動作介助・治療④ |
| 15 | まとめ | まとめと確認 |

【成績評価方法】 提出物と実技検定により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】

担当教員は病院・介護施設において理学療法士として従事し、患者さんへの評価・治療を行うと同時に、実習生の指導も担当していた。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 3 科 目 名 : 理学療法総合Ⅱ

担当講師 : 藤瀬 幸一

単 位 : 4 単 位 教育時間 : 60 時間

教科書 (出版社) : 基礎固めヒント式トレーニング 基礎医学編・臨床医学編 (南江堂)

参考書 (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : (G10) 基礎知識を問う演習問題を理解しながら正しい解答を導くことができる。

(SB0) 近年の理学療法士に必要な基礎知識を理解し、学習計画を立案する。

理学療法士に必要な基礎知識を問う試験において60%以上の正答率で解答することができる。

【講義概要】

理学療法士の資格取得のために必要な国家試験の合格に向けて、基礎医学についての復習を行う。

また、目標に向けての学習計画のアドバイスなども行う。

| 回数 | 項 目 | 内 容 |
|----|----------|-------------------------|
| 1 | 国家試験対策1 | オリエンテーション |
| 2 | 国家試験対策2 | 骨・関節・筋、運動学 |
| 3 | 国家試験対策3 | 骨・関節・筋、運動学 |
| 4 | 国家試験対策4 | 骨・関節・筋、運動学 |
| 5 | 国家試験対策5 | 骨・関節・筋、運動学 |
| 6 | 国家試験対策6 | 骨・関節・筋、運動学 |
| 7 | 国家試験対策7 | 神経、感覚 |
| 8 | 国家試験対策8 | 神経、感覚 |
| 9 | 国家試験対策9 | 神経、感覚 |
| 10 | 国家試験対策10 | 神経、感覚 |
| 11 | 国家試験対策11 | 呼吸、循環、消化器、代謝、ホルモン、発生、細胞 |
| 12 | 国家試験対策12 | 呼吸、循環、消化器、代謝、ホルモン、発生、細胞 |
| 13 | 国家試験対策13 | 呼吸、循環、消化器、代謝、ホルモン、発生、細胞 |
| 14 | 国家試験対策14 | 呼吸、循環、消化器、代謝、ホルモン、発生、細胞 |
| 15 | 国家試験対策15 | 内科学 |
| 16 | 国家試験対策16 | 内科学 |
| 17 | 国家試験対策17 | 内科学 |
| 18 | 国家試験対策18 | 内科学 |
| 19 | 国家試験対策19 | 病理学、人間発達学 |
| 20 | 国家試験対策20 | 病理学、人間発達学 |

| | | |
|---|----------|-------------------|
| 21 | 国家試験対策21 | 神経内科学 |
| 22 | 国家試験対策22 | 神経内科学 |
| 23 | 国家試験対策23 | 整形外科 |
| 24 | 国家試験対策24 | 整形外科 |
| 25 | 国家試験対策25 | 整形外科 |
| 26 | 国家試験対策26 | 整形外科 |
| 27 | 国家試験対策27 | 臨床心理学・リハビリテーション概論 |
| 28 | 国家試験対策28 | 臨床心理学・リハビリテーション概論 |
| 29 | 国家試験対策29 | 精神医学 |
| 30 | 国家試験対策30 | 精神医学 |
| <p>【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。</p> | | |
| <p>【授業の方法・形式と教員紹介】 国家試験の過去問題の演習やその解説を行う。担当教員は理学療法士であり、資格取得の経験や教員としての講義経験や学生指導の経験を活かし、授業を展開していく。</p> | | |